感じて・動く

平岡南中第2学年
学年通信
第 6 号
2025.__.__

行ってきました！その2　大阪・関西万博　5月30日(金)

１日だけの校外学習でしたが、たくさんの学びができました。万博からの学びもさることながら公共交通機関を使うことにより、ルールやマナーといった「社会性」「公共性」についても、これから社会人となる私たちにとって大きな学びとなりましたね。私たちは常に「社会」の中で生活しています。自分も含めた「社会」が常に過ごしやすくなるように心がけることが社会人の基本ですね。「人のため」に行動することは「自分のため」の行動であることを忘れずこれからの毎日の生活を過ごしていきましょう。

万博に行って改めて日本と世界の素晴らしさを感じることができました。どのパビリオンでも研究者の方々の、この世界を良くしたいという気持ちが伝わってくる展示ばかりでした。特に驚いたのはヘルスケアパビリオンのアクアポニックスで、今地球で行われている物質循環を見える化する展示で SDGs の大切さを改めて感じました。【2 年 1 組】

校外学習に行く前より、時間を守ったり、ルールやマナーを守ったり、周りへの気配りや友達と協力するなど確実によくできていたと思います。準備の段階でも静かにでき、クラスみんなで協力しあっていたので、今回万博に行けたことは、すごくいい経験になったと思います。日頃は話さなかった子ともなかよくなる機会ができたのでよかったです。【2 年 2 組】

まずよかったのは全員が指示通りに動けていたところです。電車の中も迷惑をかけないかと考えて行動しました。でもしっかり行動できよかったです。僕としてはみんなが指示通り動いてくれたので点呼がやりやすくて助かりました。この校外学習のことをトライやる・ウィークにつなげるようにしたいです。【2 年 4 組】

最初、僕が班長になった時はみんなを引張って行けるかすごく不安でした。電車も数年ぶりだったので、何度も確認してから行きました。移動中は何度も振り返り人数を確認したり、体調の悪そうな班員のためにエレベーターを探したり自分なりにできたと思います。アメリカやフランスなど有名な国はいけなかったけど、ベルギーに行けました。その国はヨーロッパのワクチン製造の中心でした。そのことから僕たちの知らなかったところで多くの人の命を救うために頑張っている国があることを知れて良かったです。【2 年 1 組】

電車内では周りの人に配慮を忘れず行動できました。電力館ではゲームができ色々学べてよかったです。その他のパビリオンでも見たことのない映像や技術がみれてとても楽しかったです。もっと各国のパビリオンが見たかったです。帰りの電車では少し騒がしくなって注意できなかったのが反省点です。それは今後の生活で活かしていきたいです。【2 年 4 組】

平日の通勤時間帯での電車の乗り降りは意識してしっかりできたと思います。電力館での CO２から物が作れたり、潮力で発電ができたりを、体を動かして楽しく学ぶことができました。これからもっとエネルギーを作る方法や集める方法を探してみたいと思います。【2 年 2 組】

公共の場での過ごし方は会話も極力控えたり、電車の乗換も先生が離れていても伝え合えたり、席も譲り合えたりなどよく意識できたと思います。ただ班活動では少し気配りのできない面もあり、反省して改善したいと思いました。【2 年 3 組】

今回の校外学習では、駅でも万博パビリオンでも一般の方と一緒で、気を抜く間がなく、常に周囲の方も気持ちよく過ごせるよう意識した１日でした。それでも、テーマや目的を忘れて行動したり、広がって歩いてしまったり、班やクラスでギクシャクしたりで、まだまだこれから改善、成長したいと思いました。【2 年 3 組】

大阪までの電車では人が多くて押されながら入りました。その中で赤ちゃんを抱えたご夫婦がいて自分たちも周囲の人もできるだけ赤ちゃん達に迷惑にならないよう声を掛け合えたのがよかったです。万博内も班員みんなで行動できたので、これからも頑張りたいです。【2 年 3 組】

今回の校外学習では、わたし的には「時間を守って行動する」「周りに気を配りながらすごす」などができたと感じました。月曜日からの普段の生活で、この校外学習で習ったことを意識して普段の生活の中でも活かして、落ち着いた行動をしていけたら良いと感じました。【2 年 1 組】

【保護者の皆様へ】　子育って難しいですね

中学生は大人へのステップで何かと難しい年ごろです。特に夜間の外出、外泊は厳禁です（昔　別の学校で、友人と夜間外出中に暴漢に殴られる事件がありました。また喫煙、飲酒の温床にも）またカバンの中や持ち物に自身の物でない物が入っていないかご注意ください。携帯電話も使用時間に注意してリビングにおいてゆっくり就寝するなど、落ち着いた生活を心がけてください。**「手は離しても、目は離さない」**の姿勢で今後も見守りたいと思います。